



筑波大学合格体験記《推薦編③》

大学受験は“3年から”じゃない 理工学群 社会工学類 《女子生徒》

難関大入試対策講座【筑波大編】を実施

2月27日(土)、3月12日(土)の両日、駿台予備校の講師を招いて難関大入試対策講座を実施しました。2月27日は1年生のSGクラス希望者が塚越由美乃先生の英語を、3月12日は2年生の希望者が野崎優先生の数学を受講しました。講義時間は計150分、英語では昨年の問題を、数学では今年出題されたばかりの問題を中心に熱心な講義が繰り広げられました。

駿台予備校の授業は50分が1コマということでしたが、参加した生徒の熱心な取り組みに、予定時間をオーバーする白熱した講義が展開されました。



塚越先生の講義風景 長いキャリアを感じる巧みな教授技術と明快な語り口で生徒を魅了していました



野崎先生の講義風景 野崎先生は本校のOBで今回の講義依頼を快諾していただきました

【生徒感想(抜粋)】

- 意味が分かりにくい文も、塚越先生の解説はすんなり理解できました。また、普段の竜一の授業で学んだことを、問題を解く時にきちんと「使える」ようにする努力も必要だと思いました。(1年 女子生徒)
- 今までの勉強が実際に入試に役立つと分かり、一層学習に対するモチベーションが上がりました。予備校の先生ならではのアドバイスもいただき、有意義な講座となりました。(2年 男子生徒)

はじめに

私は推薦入試を利用したので、一般入試で受験する人の参考にはならないかもしれませんが、推薦入試を少しでも考えている人のためになりますように。

進路決定(志望動機)

選択することで自分の可能性が減っていく気がして推薦入試の希望を出すまで進路を明確に決定できていませんでした。私にとって自分の気持ちを確かめるという点でも推薦入試は大きかったです。

1年生の頃、まわりに合わせて「とりあえず筑波」という気持ちで志望を書いていました。文理選択の時期ようやく進路について考え始め、理系科目を学びたいが経営学も学びたいと思うようになりました。その時、文理両方の特徴を持った社会工学類に行こうと思いました。それ以来第一志望は変わっていません。

1・2年の学習

課題、少テスト、考査前の勉強だけしていました。部活動をしているとそれでいっぱいでした。苦手な科目は念入りにやったり、苦手を残さないようにしました。あと朝早く学校に来て勉強しました。

3年の学習

夏休み前まではほぼ1・2年生の時と同じことをしていました。夏休みは科目が偏らないように計画を立て、苦手だった英語に時間をかけました。できるだけ学校と飛龍館を利用しました。

推薦入試に向けた取り組み

夏休みに小論文の課外を受け、過去問を3年分解きました。10月に入り担当の先生が発表されると本格的に推薦入試対策が始まります。11月に入ってから放課後のほとんどの時間を使っていたので、一般入試の勉強をしている時間はあまりなかったです。

〈小論文〉

毎週1年分ずつ進めて7年分解きました。先生には小論文の書き方よりも、問題文やグラフをどう読み取ればいいのか、その社会問題についての予備知識を教えてくださいました。

〈面接〉

志望動機を書いて固めるところから始めました。最終的に出来上がったのは入試まで1週間を切ったころでした。私は担当の先生とだけ面接練習をしました。

志望動機を書くのは大変ですが、自分という人間に興味を持ってもらえる最高の機会だと思って頑張ってください。

〈面接～英語〉

英文の音読・和訳があるのですが、私は夏休みに速単の左側ページを音読していました。11月に担当の先生を付けてもらい、週に1回練習しました。

【裏面に続く】

本番の様子

1日目は小論文です。小さめの教室に全員入って先生が2人いました。いつもの模試と雰囲気は同じです。見慣れない制服ばかりで緊張すると思いますが、リラックスしましょう。教室に時計はありません。私は忘れたので注意してください。

2日目は面接です。番号の若い順から呼ばれて3部屋で行きます。めいっぱい自分をアピールしましょう。今年は全受験者が35名でした。

後輩へのメッセージ

推薦入試の良い所を挙げます。

1つ目は、推薦の勉強を通して「この大学に行きたい！」という気持ちが強くなることです。それはこれからの勉強のモチベーションにも繋がると思います。

2つ目は、その自分の気持ちや熱意を直接伝えられることです。一般入試では絶対にできないことなので、興味を持ってもらえるように自信を持って！

社工の推薦受験を考えている人へ

私が後悔したことは新聞やニュースを見なかったことです。過去問を見てもらえば分かると思いますが、現在の社会問題となっている事が多く取り上げられます。知識がなかった私には難しかったです。だから今から新聞を読んでおいたほうがいいと思います。

最後に、私がこのタイトルにした理由は、推薦でも一般でも、受験は高校生活でやってきたこと全てが評価されるものだと思います。1・2年生のうちから笑って卒業できるように頑張ってください。

今を全力で 生命環境学群 生物資源学類 《女子生徒》

今回、筑波大学に合格し、合格体験記を書かせて頂くことになりました。嬉しい反面、本当に私が筑波大学に合格したの?!という半信半疑な気持ちでいっぱいです（笑）私が推薦入試で感じたことや、いままでどのように学習をしてきたかということをお伝えしたいと思います。

推薦を希望した理由

私が推薦入試の存在を知ったのは、2年の中旬のころ担任の先生に教えて頂いた時で、それ以前は全く、推薦入試のことは眼中にありませんでした。私は、比較的、「将来こんなことをしたい！」というのが決まっていたので、「推薦入試を受けるのもありかな〜」と少し思うようになりました。が、これは本当になんとなくしか思っていませんでした。筑波大のカリキュラムにとっても魅力を感じ、自分のやりたいことができると思った為、筑波大にあこがれを持つようになりました。「やりたいこともできるし、推薦入試を受けよう！」としたり、「私が推薦なんて受けていいのだろうか」と受けるかどうか葛藤したときもありました。ですが、先生から勧められたこともあり、何も行動を起こさないと後悔するよりも、行動を起こして後悔したほうが良いと思い、当たって砕ける精神で推薦入試にチャレンジすることにしました。今思うと本当にここで挑戦して良かったです。

今までの学習

私は、中学4年生の気持ちでこの竜一に入学してきたため、最初の定期テストではボロボロの点数を取りました。はじめは、高校はこんなもんか！とっていましたが、夏休みに入り、「このままだと適当な気持ちで高校生活が続いてしまう！」とふと、我に返りました。そこで、夏休みの機会を使って、一回本気で頑張るテストに臨もうと決意し、なんと順位表に自分の名前が載るくらいまで挽回できました。だから部活で大変な皆さんも、一科目でもいいので何か

本気でやってみてください。案外、点数が取れて、やる気もアップすると思います！また、一科目でも得意な科目があると受験の時の強みになります。平日は、毎週出される課題に追われていたため、小テストの勉強なんてやられるか！と思い疎かにしていました…（皆さんはきちんとやったほうがいいです）。ですが、授業や課題は真面目に取り組み頑張りました。課題は期限が過ぎてしまっても答えを写さずにやったほうがいいです！答えを写すなんてお金と時間の無駄だよ！私は、部活がないテスト週間になったら、集中して勉強しました。実際に皆さんも部活などで忙しくてなかなか勉強時間が取れないと思います。ですが、自分が勉強時間にあてられる時間の中でどれだけできるかが大切だと思うので、自分ができる範囲内、全力で頑張ろう！そしたら後悔もしないと思います。実際に私は出来る範囲内、全力で頑張ったので、「あの時あれをやっとけば良かったな〜」って思う後悔はありません。

推薦までの取り組み

私の受験科目は小論文と面接だったため、夏休みの推薦入試の小論文の課外に参加しました。初めて問題を見たとき、内容の難しさに驚愕しました。（練習を重ねて行けば、書けます）あとは担任の先生から勧められた本や関係のある本をいくつか読んだ程度で、夏休みは一般の入試勉強しかしていませんでした。10月ごろから本格的に推薦入試対策が始まります。推薦入試の勉強に重点を置かないように気を付けました。その際に小論文の問題と並行して、志望理由書も書かなくてはいけなくなったり、面接の事も考えなくてはならなくなり、一般入試の勉強もするのは正直大変でした。一般入試の勉強をしている友達を見ると、なんで推薦入試なんて受けようと思ったのだろうと嫌になったときもありました。ですが、私のために添削や面接の練習をしてくださっている先生方がいらっしゃる、自分が本気で頑張らなくては失礼だと改めて気づき、今まで以上に、自分は何がしたいのか、なぜ筑波大なのかという自問自答や、小論文のための知識の補充をしました。入試の一週間前からは推薦入試の勉強に重点を置き、悔いが残らないように、出来るだけの事をしました。

入試当日

1 小論文

入試当日は、なるべく早めに行きました。受験会場では、いままで添削を受けた小論文などを読み返しました。他の受験生も自分と同じで緊張しているから、落ち着いていつも通りにやれば大丈夫だと思って書きました。傾向が変わっていたので驚きましたが、なんとか時間内に書くことが出来たのでほっとしました。

2 面接

面接の控え室では、私もでしたが、周りの受験生も相当緊張していたと思います。実際、面接室に入ると、緊張なんてふっとんで、あっという間に終わってしまいました。面接では、自分が言ったことに対して相当突っ込まれました。（いわゆる圧迫面接みたいな感じでした・・・）おそらくここで、大学に対しての本気度を問われていたのだと思います。もしグイグイ突っ込まれても、自分がそのとき思ったことをいえばいいと思います。面接は、会話！！むしろ私は、考えていたことはあまり聞かれなかったため、ほぼその場で考えたことを述べました。

後輩へのメッセージ

私は、高校1年の夏に切り替えが出来てよかったです。もし、あのまま中途半端な気持ちで勉強していたら、推薦入試という選択肢すらなかったと思います。部活に入っている人は、毎週出される課題を出すのも、小テストの勉強をするのも大変だと思います。私もなんだか毎日課題に追われて、あっという間に受験生！って感じでした（笑）受験なんてまだまだ先のことでしょ！！なんて思っていると意外にすぐに受験生になってしまうので、勉強も頑張り、ときには友達と遊んで、高校生活を思いっきり楽しんでください。そして、悔いが残らないように「今」を大切に、今出来ることを全力で頑張ってみてください！！